

# 北杜市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画 概要

## データヘルス計画の概要・目的

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と掲げられました。またこれを受け、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の一部が改正され、「市町村及び組合は(中略)健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うこと。」と定められました。その後、平成30年4月から都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となり、また、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020(骨太方針2020)」において、データヘルス計画の標準化等の取り組みの推進が掲げられ、令和4年12月の経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画 改革工程表2022」においては、データヘルス計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切なKPI<sup>※</sup>の設定を推進するとの方針が示されました。このように、全ての保険者にデータヘルス計画の策定が求められ、効果的・効率的な保健事業の実施に向けて、標準化の取り組みの推進や評価指標の設定の推進が進められています。

市町村国保においては、幅広い年代の被保険者が存在するため、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上が図られ、結果として、医療費の適正化に資すると考えられます。本計画は、第1期及び第2期計画における実施結果等を踏まえ、PDCAサイクルに沿った保健事業の展開、達成すべき目標やその指標等を定めたものです。計画の推進に当たっては、医療介護分野における連携を強化し、地域の実情に根差したきめ細かな支援の実現を目指し、地域で一体となって被保険者を支える地域包括ケアの充実・強化に努めるものとします。 ※KPI…Key Performance Indicatorの略称。重要業績評価指標。組織の目標を達成するための重要な業績評価の指標を意味する。



## 計画期間

令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

## 第2期データヘルス計画等振り返り

前期計画では、健診受診率向上及び健診結果からの重症化予防に重点を置き事業を実施してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延により健診実施体制や受診行動などへの影響が大きく思うような評価が得られませんでした。若い世代への働きかけとして商工会や保育園、小中学校の保護者をターゲットにしますが、チラシを活用したポピュレーションアプローチが主となり、効果的な事業展開に繋がっていませんでした。

未受診者対策として、受診勧奨ハガキ送付を行い良い効果を得ることが出来ましたが、分析評価が不十分であり次期計画への課題となります。

また、計画後半では医師会等との関係性も築けたことや、後期高齢者への移行増も見られることから、個別健診や重症化予防に対する効果的な事業計画と展開を図る必要があります。

## 計画の振り返り及び現状分析からみる健康課題

課題番号	健康課題
A	間食や1日飲酒量が多いという習慣を崩すことができず、病気が悪化し重篤化することが懸念されます。健康の改善への意識が低い傾向が強いため、生活習慣の改善の必要性を理解し行動する必要があります。
B	高血圧症や糖尿病を発症し受診しているが、リスク因子の回避方法の実践ができない人が多いため、心疾患や腎疾患の発症につながっていると推測されます。
C	健診未受診者の医療費は健診受診者の3倍近くになっていることから、健康への無関心層の生活習慣は、重篤な状態に移行しやすい状況にある可能性があります。

## 対策の方向性

対応する健康課題	対策の方向性(目標を達成するための戦略)	対応する保健事業番号
A・B C	市民の健康改善の意識が低く、生活習慣病改善を理解し行動できる、きっかけづくりにつなげるためにも、特定健診の受診率向上を図ります。	1-1、1-2 2、3、4
A・C	医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防します。	1-2 2、4
A・C	早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させます。	2、3

## 【計画全体の目的】

市民が自分自身の心身に関心を持ち、自分の健康の在り方に気づき、これを達成するための方法や資源を選択できることで早期発見や重症化予防につなげます。

## 目標達成に向けた評価設定

対応する健康課題	計画全体の目標	評価指標	直近実績(R4)	目標値(R11)
A・C	健診の受診をきっかけに、自分の健康に関心を持ち、生活習慣の改善を目指します。	運動習慣のある者の割合	31.8%	33.4%
		血圧が保健指導判定値以上の者の割合	53.1%	53.1% 以下
		メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	25.0%	14.8%
B	糖尿病等の疾患管理が不十分なことで起こる、腎症や心筋梗塞、脳梗塞などの病気を予防、早期発見していくことで重症化予防していく事ができます。	HbA1c6.5%以上の者の割合(高血糖者の割合)	7.4%	7.4% 以下
		糖尿病性腎症病期分類の悪化率(短期)	3.4%(R3→R4)	3.4% 以下(R10→R11)
		糖尿病性腎症病期分類の悪化率(中長期)	6.3%(R1→R4)	11.6% 以下(R5→R11)

## 個別事業の設定

裏面の5事業を柱に保健事業を展開

# 北杜市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画 概要

## 第3期データヘルス計画 保健事業

重点

### (事業番号1-1) 受診率向上事業(未受診者対策事業含)

#### ■概要

特定健診を受診することで、生活習慣に伴う自覚しにくい健康変化を知り、疾患の予防、早期発見・早期治療につなげる事ができます。

#### ■対象者

- ①40歳～74歳の被保険者
- ②40歳～59歳の被保険者で未受診の者

#### ■主な評価指標

評価指標	直近実績 (R4)	目標値 (R11)
メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	25.0%	14.8%
特定健康診査受診率	48.7%	60.0%

### (事業番号1-2) 保健指導実施率向上事業

#### ■概要

特定保健指導は健診機関に委託し、保健師・管理栄養士による生活改善の為の支援を行います。積極的支援対象者には3か月以上の継続実施を行います。生活習慣の改善意識向上のきっかけ作りのひとつとして、希望者へ企業と連携した体験事業を実施します。

#### ■対象者

市が実施する特定健診受診者のうち特定保健指導の該当者

#### ■主な評価指標

評価指標	直近実績 (R4)	目標値 (R11)
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	20.4%	25.0%
特定保健指導実施率	57.0%	60.0%

### (事業番号2) 健診異常値未治療者受診勧奨事業

#### ■概要

①健診結果を理解しながら、保健師・栄養士と個別の生活状況に応じた生活改善点の確認を行い、生活目標をたてて1年間実践します。

②治療が必要な方や治療中断されている方に対し、受診勧奨を行います。

#### ■対象者

当該年度の総合健診における特定健診結果において血圧・糖代謝・腎機能の数値が異常値の者。

#### ■主な評価指標

評価指標	直近実績 (R4)	目標値 (R11)
総合健診での特定健診受診者における要精密検査出現率(血圧)	10.6%	10.0%
総合健診の結果報告会出席者における血圧自己測定ありの割合	—	90.0%
総合健診受診者中、結果報告会対象者における保健指導実施率	98.7%	維持

### (事業番号3) 糖尿病・CKD対策事業

#### ■概要

正しい知識の普及を図ることにより、「自らの健康を守る」事を目標に、血糖・血圧・腎データの把握を行い、ハイリスク者への生活指導を行います。

#### ■対象者

- ①特定健康診査結果で、eGFR・クレアチニン値が異常値の者
- ②特定健康診査結果で、糖代謝がD判定以上、前年よりも状態の悪化が見られる者

#### ■主な評価指標

評価指標	直近実績 (R4)	目標値 (R11)
総合健診での特定健診受診者における要精密検査出現率(血圧)	10.6%	10.0%
総合健診での特定健診受診者における要精密検査出現率(血糖)	7.5%	7.5%維持
総合健診での特定健診受診者における要精密検査出現率(腎)	2.2%	2.2%維持
健診受診者のeGFR・クレアチニン、の精検未受診者の追跡	3.5%	3.5%より減少

### (事業番号4) 健康意識向上事業

#### ■概要

広報活動を通じた健康増進に関する正しい知識の普及を行うことで、市民が健康づくりの知識を深め疾病予防及び健康増進に努めることができるように健康づくりの普及啓発を実施します。

#### ■対象者

市民

#### ■主な評価指標

評価指標	直近実績 (R4)	目標値 (R11)
運動習慣のある者の割合	31.8%	33.4%
朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を「毎日」摂取している人の割合	26.4%	21.5%
飲酒日の1日当たりの飲酒量		
2～3合摂取する人の割合	15.5%	9.3%
3合以上摂取する人の割合	3.3%	2.7%
健康教室への参加者数(延べ人数)	92人	150人
いいことチャレンジの取組者数	2,543人	3,000人